

# 50 オオソリハシシギ

(チドリ目)

*Limosa lapponica*

兵庫県ランク:B

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

## 種の概要

日本では旅鳥。兵庫県では主に4-6月と8-10月に見られる。干潟や河口、海岸の砂浜、河原、水田、ハス田に生息する。ゴカイ類を特に好み、甲殻類や貝類、昆虫類なども採食する。



写真提供:三木敏史

## 国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、見島、四国、九州、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、南大東島

## 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、西宮市、(伊丹市)、加古川市、(赤穂市)、高砂市、淡路市、たつの市、(香美町)



## 主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

## 県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

かつては県南部では50羽から100羽前後の群れが普通に観察されており、越夏例も稀ではなかった。1977年5月には甲子園浜で200羽の群れが記録されている。しかし、生息地の減少に伴い急減し、現在では数羽の群れが記録されるのみである。県北部での記録は少ない。

## 保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。



写真提供:三木敏史